

114  
A2062  
3

耕地買上拂下之旨趣  
今、斯ニ耕地百町アリ之ヲ買ヒ上ルノ價  
左ノ如シ

一 耕地百町歩

内

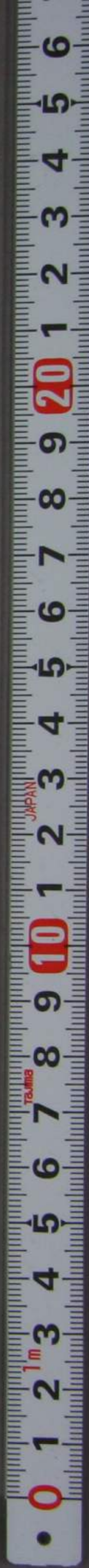
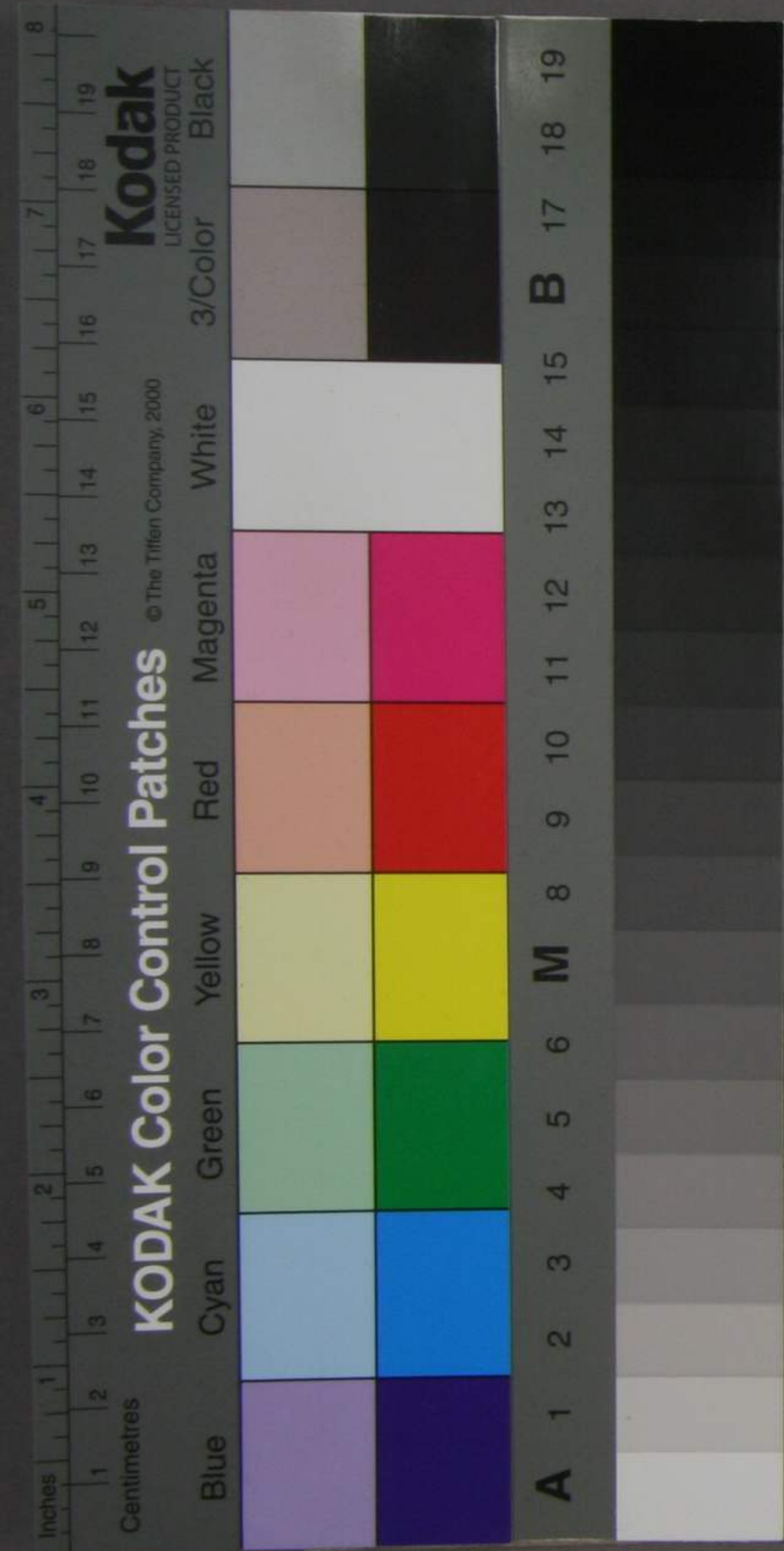
二十五町歩

斯價五百兩 一反、廿二兩

二十五町歩

斯價七百五十兩 一反、廿三兩

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄贈





二十五町歩

斯價千貳百五十兩 一反、付、五兩

二十五町歩

斯價千兩 一反、付、四兩

合計三千五百兩

真價如斯ナレハ人民所得ノ作徳ハ其

十分ノ一ニシテ三百五十兩トナル旧法四公

六民ノ法ニ據レハ此地出產ノ總高ハ五

百八十三兩永三百三十三文三トナリ租

ト作徳トヲ  
合併ス

備此ノ土地ヲ買上ケ拂ヒ下ケル時新税法ハ價

ニ從ヒ百分ノ三ヲ賦スルトスレハ全地ノ價ハ出產

高五百八十三兩永三百三十三文三トヲ十倍シテ

五千八百三十三兩永三十三文三トニナル而シテ

之ヲ人民ニ賣與スルヤ彼レ必ラス其百分ノ三ニ

当ル地稅ヲ作徳中ヨリ除去シ餘金ヲ以テ

之ヲ買請ルニ至ラン当然ノ勢ナリ其例左ノ如

シ

一 地價金全額五千八百三十三兩

端教ヲ去リテ等  
計ニ便ス

斯百分ノ三 百七十九兩九十錢



是二十倍セル元金千七百九十九兩ハ人民  
ヨリ引去テ價ヲ付ルトス

残金四千三十四兩

是ハ則チ人民ヨリ申立ツル真價ナリ

元買上直段三千五百兩ト差引スレハ

全ク五百三十四兩 拂下ノ方増即チ官  
益分トス

今斯増價ヲ得ル所以ハ旧法四公

租税変シテ百分ノ三ノ地税トナル故ニ

シテ人民ノ作徳旧額ヨリ一割程モ

増加スルヲ以テナリ則チ作徳一割ノ

増額ヲ斯金ニテ賣ルノ道理ニ當ト

リ

旧法四公六民ノ地ハ其割合前例所示

ノ如シト虽モ各土ノ旧税甘苦ノ均シカラサルア

ルヲ以テ實際ノ入札ニ至ツテハ左ノ如ク差等

ヲ生スヘシ

一 耕地二十五町歩 出産ノ利百 五十  
十公

元買上代金五百兩  
全額千兩 新法 三十  
七公

新規拂下代金七百兩

一 同 二十五町歩 出産ノ利百 二十五  
七公



元買上代金七百五十兩  
新法 七十兩  
七十兩

新規拂下代金七百兩

一 耕地二十五町歩 出產利百兩  
元買上代金千二百五十兩  
新法 百五十兩  
百五十兩

元買上代金千二百五十兩  
新法 百五十兩  
百五十兩

新規拂下代金千五十兩

一同 二十五町歩 出產利百兩  
元買上代金千兩  
新法 百二十兩  
百二十兩

元買上代金千兩  
新法 百二十兩  
百二十兩

新規拂下代金八百四十兩

金額四千七百兩

新規拂下代總計三千二百九十兩  
元買上代金三千五百兩ト差引

全二百拾兩 拂下ノ方減ス

斯例如斯ル所以ハ旧来ノ公租寡少ナル關

東畑方永取ノ如キノ地ニシテ沽券法ニヨテ更ニ

増租セルヲ以テ政府ニ於テハ此二百十兩ノ足

金ヲ出シテ後来租税ノ増額ヲ買フ理ナリ

又一例ヲ舉クルハ加能越等ノ如キ旧来重税

ノ地ハ前ノ例ニ及シテ左ノ如キモノアリ

一 耕地二十五町歩 出產利百兩  
元買上代金二百兩  
新法 七十兩  
七十兩

元買上代金二百兩  
新法 七十兩  
七十兩

新規拂下代金七百兩



一 耕地二十五町歩 出産利二百四十百六十公

元買上代金四百兩 新法 六十百六十公

全額二十兩 新規拂下代金千四百兩

一 耕地二十五町歩 出産利八十六十六公

元買上代金百四十兩 新法 二十四五十六公

全額八百兩 新法 二十四五十六公

一 耕地二十五町歩 出産利六十四十八公

元買上代金百三十兩 新法 十八四十二公

全額六百兩 新法 十八四十二公

新額 四千四百兩

新額 四千四百兩

全三千二百二十兩 拂下ノ方増ス

如此ナル所以ハ旧来全地産出ノ二割ノ作徳ヲ

所得セシ人民沽券税法ニヨリ俄ニ七割ノ

作徳ヲ得ル所ノ譯合ニ当リ差引五割家産

ノ増加スル理ナレバ此拂下ノ足レ金三千二百二十

兩ヲ以テ更ニ五割ノ作徳ヲ買ヒ請クルノ理ナ

リ

夫レ従来ノ法度ニ甘苦アリハ今輕重異同ヲ生

スル右例ノ如クナラサルヲ得ス故ニ政府ハ貴買



シテ賤賣スルアリ賤買シテ貴賣スルアリ是レ  
止ムヲ得サルノ勢ナリ然レトモ概シテ言フハ政  
府ニ於テハ地租ノ一分或ハ若干ノ分ヲ減スルヲ  
以テ出金少ナク民ニ於テハ作徳ノ若干ノ分ヲ  
買受ク可キ道理ナルヲ以テ出金セサルヲ得サル  
可シ乃チ政府ニ於テ益アツテ損ナキニ似タリト  
虽モ斯ニ一ノ處シ難キモノアリ譬ヘハ一人別ハ  
所有地若干旧来ノ地租甘ナルト苦ナルト  
相混同セルハ代價モ亦貴賤相混同シテ彼此  
通融ノ理アレハ散テ處シ難キノ理ナシ若

之ニ反シテ公租ハ從來過重ナル加能越等ノ  
如キカ或ハ繩結リ等ニテ新法ニヨリテ減租  
ニ至ル者ハ地價増加スルヲ以テ昨日官へ賣  
上ケタル代價ニテ八百六十原有ノ土地ヲ全價四  
ニ當リ買得ガタシ農民多クハ貯蓄ニ乏シクシテ  
其殘金ヲ出シ能ワサルハ必然ナリ虽然其  
情状ヲ斟酌スルハ一村一區ノ地價ヲ  
平均スルノミニシテ產出ノ利分ニ應ジタル代  
價ヲ定ム可カラス且ツ旧法輕税ニ過キ未タ  
レル土地ハ政府ニ於テ買上ケノ代價ノ方拂



下ケノ代價ヨリ増加セルヲ以テ到底政府  
ヨリ不足金ヲ人民ニ償フニ至リ之ニ反シテ重  
税ニ過キ来タレル土地ハ人民ヨリ不足金ヲ  
政府ニ取立ツ可キ道理ナレトモ實地俄ニ互ニ  
出金セシメ難シ因テ其實際ニ及ヒ上下互ニ  
正金ヲ交換セス仮ニ證券ヲ授受シ其過不  
足ハ年賦ヲ以テ皆濟ニ至ラシムルノ處分ヲ為サ  
サル可カラス其處分ノ方法ハ左ノ如シ  
一 村ノ耕地百町歩  
此元代五千金

拂下代 四千五百兩

政府、買上ケノ方五百兩多シ

斯ル時百姓一人別ニ一筆限ノ田畑ニ増加  
セル代金ヲ割付ケ之ヲニヶ年賦ニシテ官  
ヨリ其田地ノ持主ニ下典ス可シ斯増加金  
ハ田畑ニ固著セシモノナレハ田畑ノ持主交換  
スト虽モ現在ノ持主タル者ニ下典スヘシ

一村ノ耕地百町歩アリ

元代六千金ナリ

拂下代七千金ナリ



則チ人民ヨリ出金ノ高千兩多シ  
斯ル時百姓一人別々一筆限ノ田地ニ不足  
セル代金ヲ割付ケテ之ヲ二十ヶ年賦ニ課シテ  
取立ツ可シ尤モ斯年賦金ハ其田地ニ固著  
セシモノナレハ持主交換スト虽モ年期中ハ其  
田地ノ持主タル者ヨリ取立ツルヲ要ス  
是レ則チ従前ノ貢額甘苦甚タシキ分ハ年  
限ヲ定メ旧額ノ何分ヲ据置ト同意ニシテ其  
名ヲ変スル者ナリ但シ此處分其人ヲ得ルニ非  
サレハ殆ニト處シ難キ者アラニ歟

土地買上ノ時ニ当リ故サラニ高直ニ言上クルハ  
ハ買上ズシテ其言立テ直段ヲ以テ沽券ヲ定ム  
可シ之ヲ反シテ低價ニ言上ケ拂下モ亦低價  
ニ入札スル時ハ作徳其外ノ求價法ヲ施シ官  
ニテ地代ヲ定ム可シ而シテ如斯種類多キハ  
其所歩ト凡ノ代價ヲ書シ布告シテ望人  
ヲ求ムルノ處置ナカル可カラス是レハ到底徒法ニ  
シテ決シテ他村他郷ノ者ノ入札スヘキ謂レハ  
十二八九ナシト虽モ本地ノ人民ヲシテ畏怖セ  
シムルノ一端トハナル可シ



官ニテ地價ヲ定ムルニ至難アリ如何トナレハ  
買上拂下ノ際ニ於テ價ノ高低ヨリ生スル差  
違ハ或ハ官ニテ償ヒ或ハ民ニテ償フ實價ナレハ  
尤適當ナラサル可カラス然ルニ旧来ノ持主作徳  
ノ利分ニ拘ハラス所有ノ固キヲ欲シテ高價ニ  
買ヒ得ル地モアルベク或ハ畑作等利益ノ算定  
シカタク者アレハ官吏ノ鑑識ニテ決シ難キモ  
ノ間ニアル可シ斯ル時ハ勢ヒ人民ノ其道ニ詳  
カナル者ヲ以テ鑑定人トセサルヲ得ス是レ止ムヲ  
得サルノ勢ヒナリ但能其間ニ於テ弊ヲ生

セス奸ヲ為サシムルハ地方官ノ任ナリ方今  
地方現任ノ長官其以下典事邊ニ於テ果  
シテ能ク其事ニ任スル耶成否ニ至ツテハ當  
察ノ最モ注意ス可キ所ニシテ其実ハ甚々  
掛念ノ第一ナリ天下固ヨリ十全ニシテ弊  
ナキノ法ナシ其法ヲ活用シテ弊ナカラシムル  
ハ其実地ニ現在スル者ノ任タリ而シテ古来  
舉行スル者ノ巧拙ヲ論セス法ノ行ハレサルニ至  
テハ概シテ外口ヲ立法ノ者ニ歸ス噫



